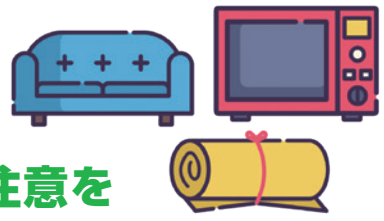
記事のタイトルをクリックすると、当該記事のホームページに遷移します。※ページがない場合は、遷移しません。

粗大ごみの申し込みはお早めに



年末に向けて申し込みが大幅に増えるため、年内に収集・持ち込みができない場合があります。早めに申し込んでください。

粗大ごみ受付センター ☎5703-5399（ごーななまるさん ごみきゅっきゅっ）　区HPからの申し込みが便利です

⚠ 悪質な事業者にご注意を

不用品の回収をトラックやチラシで呼び掛ける事業者の多くが無許可の違法事業者です。「不用になった家具や家電を処分する」「無料で引き取る」と言いながら、高額な処理費用を請求してくる場合があります。被害に遭わないためにも、区の粗大ごみ受付センターに処理を依頼してください。

＼リサイクル工場などでの発火事故につながります！／

充電式電池を含む製品は袋を分けて不燃ごみへ

モバイルバッテリーや加熱式たばこなど充電式電池を含む製品は、強い衝撃が加わると発火し大変危険です。廃棄するときは、他の不燃ごみとは別の袋で出してください。電極が露出している場合は、テープなどを貼り絶縁してください。　※電池部分が膨張しているときは、リサイクルセンターや清掃事務所、資源循環センターにお持ちいただくか、不燃ごみの収集日に作業員に手渡してください。問清掃事務所【〒176・179の方…練馬☎3992-7141、〒177・178の方…石神井☎3928-1353】

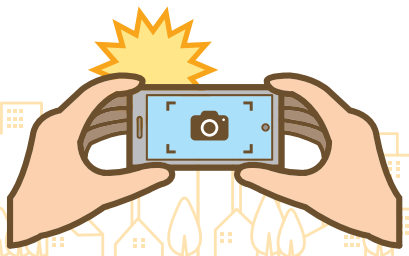
▲区HP



みんなの気付きでよいまちへ

ねりまちレポーターを募集

問合せ 広聴担当係☎5984-4501





アプリで簡単登録！ダウンロードはコチラから

練馬区

▲ねりレポHP

＼ねりまちレポーター登録者3,938名／

皆さんと共にまちをきれいにしています

昨年度は3,103件の投稿をいただきました。今後も、いただいた情報を基に対応します。不具合を見つけた際には投稿をお願いします。

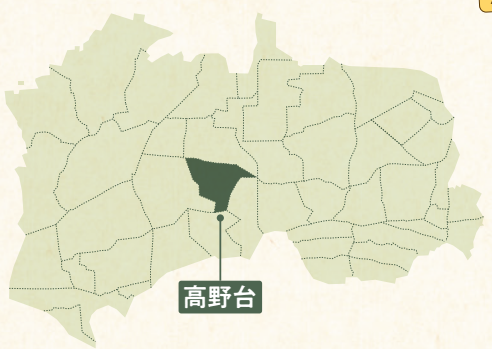
ねりまの地名物語

郷土史研究家で練馬区文化財保護推進員を務めた桑島新一さんが執筆した「ねりまの地名今むかし」(昭和59年6月～60年8月区報連載記事)を再構成し、地名の歴史と由来、その地域のイチ推しスポットなどを紹介します。

第18話 高野台（たかのだい）

江戸時代、この地域は「谷原（やわら）村」と呼ばれました。昭和7年に板橋区が成立した際に「板橋区石神井谷原町1・2丁目」、24年に「谷原町」、40年の住居表示で2丁目の目白通りを挟んだ北側が「谷原（やはら）」、南側が「高野台」となりました。

「高野台」という地名は、この地域にある長命寺（ちょうめいじ）の山号「東高野山（ひがしこうやさん）」に由来します。当時、足立区に「高野町（こうやちょう）(現在の西新井)」があり、読み方を区別するために「高野台（たかのだい）」と名付けられたといわれています。



過去の掲載記事はコチラ

区HPでは本連載のバックナンバーをご覧になれます。
問広報係☎5984-2690

イチ推しスポット

長命寺（高野台3-10-3）

豊かなみどりに囲まれ、四季を感じられる寺院です。境内には南大門や区指定文化財の「長命寺の梵鐘（ぼんしょう）」と「長命寺仁王門」があり、江戸時代から続く長い歴史を今に伝えています。今の季節には「ねりまの名木」であるイチョウが見頃を迎えます。歴史と季節の彩りを楽しみに、訪れてみませんか。



南大門



長命寺仁王門